

# 請 願 文 書 表

請 願 番 号	第 3 号	請 願 要 旨
受 理 年 月 日	令和8年2月24日	<p><b>【請願趣旨】</b>                      バス路線の廃止や減便などが相次ぐ中、これ以上の地域公共交通の衰退に歯止めをかけ、住民の足を守り、地域の社会経済基盤を再生、活性化することは県政の重要課題である。ところが県が発表した滋賀地域交通計画（素案）は、公共交通を衰退させた国と県政の責任を棚に上げるだけでなく、物価高騰に苦しむ県民に対して、「交通税」と称した新たな負担増を押しつけようとしている。このため県民の怒りと不満が広がっている。</p>
件 名	住民負担増の「交通税」はストップし、国と県の責任による公共交通の充実を求めることについて	<p>県内のバス路線は、2002年のJRバス路線の93.2キロメートル廃止など、各バス会社が毎年のように廃止、減便を繰り返し、1999年に2,327万1,000キロメートルあった一般乗合旅客自動車の走行キロ数は、1,838万4,000キロメートル（2023年）にまで激減。昨年も近江鉄道と湖国バスが19路線で減便するなど、地域公共交通の衰退に歯止めがかからない。</p>
請 願 者 所 住 氏 名		<p>廃止、減便の最大の要因は、2002年の「道路運送法」改正で乗合バス事業の公的な規制を取り払うなど、公共交通への責任を放棄した国の「規制緩和」路線である。同時に、県はこの30年間、路線バスへの補助金を激減させて、公共交通の衰退に拍車をかけてきた。</p>
紹 介 議 員	中山 和 行 節 木 三千代	<p>「自由に移動する権利＝交通権」は、憲法で保障された基本的人権である。今、求められるのは、住民負担増の「交通税」導入をきっぱり中止し、大型事業の見直しなどによる財源確保で地方バスへの補助金を大幅に増額するなど、国と県の責任で住民の足を守り、人間を優先した地域交通計画を策定することである。</p>
付 託 委 員 会	総務・企画・公室常任委員会	<p>県の地域交通計画（素案）には、県民から419件のパブコメが寄せられた。財源問題では「交通税」導入に、「今の国民には真綿で首を絞められているのと同じ」「数百億円の大規模事業こそ見直せ」「断固反対」など、圧倒的多数が反対した。県はこうした県民の声にこそ、真剣に耳を傾けるべきである。</p>
審 査 結 果		<p>以上の趣旨から、下記のことを請願する。</p> <p><b>【請願項目】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国と県の責任によって公共交通を充実させる計画に変えること。</li> <li>2 住民負担増の「交通税」導入は、きっぱり中止すること。</li> </ol>

# 請 願 文 書 表

請 願 番 号	第 5 号	請 願 要 旨
受 理 年 月 日	令和8年2月24日	<p><b>【請願趣旨】</b>                      高市早苗首相は、総選挙を受けた9日の記者会見で、「国論を二分する政策」をめぐり、「国民の皆様からの信任を得た」などとして、「憲法改正に向けた挑戦も進めていく」と9条を念頭にした改憲にまで言及。「各会派の協力を得て改正案を発議する」「少しでも早く憲法改正の賛否を問う国民投票が行われるよう環境をつくる」と述べた。しかし、高市首相は選挙戦で、「国論を二分する政策」についてまともに語らず、各党との政策論戦からも逃げ続けた。高市首相が選挙中改憲を訴えたのは、選挙終盤に「実力組織として位置づけるため憲法改正をやらせて」とした屋内演説の1回きり。県内小選挙区で議席を得た自民党3候補は、「選挙公報」にも「憲法改正」を掲げなかった。肝腎の内容を明らかにしないまま、選挙に勝ったことをもって「白紙委任状」を得たかのように振る舞うことは許されない。高市首相の改憲発言には、不安が広がり、SNSで「#ママ戦争止めてくるわ」との投稿がトレンド入りしており、改憲が国民の信任を得たとはとても言えない。</p> <p>自民党は総選挙政策で、自衛隊明記の9条改憲や緊急事態条項創設などの「改憲4項目」を掲げているが、9条に自衛隊を明記すれば、海外での武力行使を禁止するなどの憲法上の制約が完全に失われ、米軍の指揮下に完全に組み込まれ、海外での戦争に乗り出すことになる。戦後、自衛隊は1人の戦死者も出さず、1人の外国人も殺していない。高市首相が狙う改憲は、民主主義や人権を封じ、「戦争する国」へと国の形を根底から変える改憲だ。私たちは、戦争と軍備拡大に反対し、憲法を生かして貧困や差別のない社会、平和と民主主義、人権が守られる社会を求め、高市首相の憲法改悪のたくらみに反対する。</p> <p>以上の趣旨から、下記の事項が実現するよう請願する。</p> <p><b>【請願項目】</b>                      一、 憲法9条に自衛隊を書き込み、緊急事態条項を創設する改憲に反対する意見書を、国会および政府に提出すること。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
件 名	「憲法改悪を許さない意見書」の提出を求めることについて	
請 願 者 所 名 請 住 氏		
紹 介 議 員	中山 和 行 節 木 三千代	
付 託 委 員 会	総務・企画・公室常任委員会	
審 査 結 果		